



TITLE:

# 研究会報告 長期研究会「パターン形成、運動およびその統計」

AUTHOR(S):

---

CITATION:

研究会報告 長期研究会「パターン形成、運動およびその統計」. 物性研究 1989, 52(4): 313-314

ISSUE DATE:

1989-07-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/93659>

RIGHT:

## 研究会報告

長期研究会「パターン形成、運動およびその統計」5月8日(月)~5月10日(水)

於: 二階小講義室

プログラム (1989年7月13日受理)

5月8日(月)

1:00~

1. 古川浩(山口大・教育) 「相分離における系の構造関数の漸近形」
2. 富田博之(京大・教養) 「相分離系の「双極能率」保存と構造関数の  $q^4$  則」
3. 川勝年洋、川崎恭治(九大・理)  
「水-油-surfactant 3成分系のパターン形成のダイナミクス」
4. 小貫明(基研) 「多界面系のストレステンソル」
5. 川崎恭治(九大・理) 「長距離拡散を伴う系の秩序化過程」
6. 豊木博泰(山梨大・教育) 「急冷系における点状欠陥の運動」
7. 長井達三(九州共立大・工) 「2次元セルパターン成長のスケール性」
8. 太田成俊(九州共立大・工) 「3次元セルパターンの動力学」
9. 関本謙(九大・理) 「動的相似則に従うシステムの流体力学的変数」
10. 太田隆夫(お茶大・理) 「Elastic Properties of the Microphase  
Separated Structures in Copolymer-Homopolymer Mixtures」
11. 吉野茂雄(名大・理) 「流動場を受けたブラウン粒子の相互作用」

5月9日(火)

9:00~

12. ○樽見和明(群馬大・教養) 「Reaction-Diffusion System  
(Gierer-Meinhardt model)におけるパターン選択性について」
13. ○蔵本由紀(京大・理) 「パターンダイナミクスと漸近的方法」
14. ○那須野悟(東北大・通研) 「液晶対流系における Dislocation の運動」
15. 徳山道夫(東和大・工) 「反応速度における多体効果の統計力学的理論」
16. 落合萌(湘北短大・電子) 「Stochastic Approach to the Dynamics of  
Patterns in Condensed Matter; The Regression of Fluctuations at the  
Critical Point in case of an Autocatalytic Chemical Reaction」

研究会報告

1:30~

17. ○大橋一利（玉川大・工） 「破壊のメカニズム」
18. 松村晶（九大・総理工） 「Fe-Si合金の準安定な規則-不規則転移点付近における相分離過程」
19. 目時直人（東大・理） 「擬1次元系（非保存）における1次相転移の時間発展」
20. 横山悦郎（北大・低温研） 「結晶成長におけるパターン形成  
- 円、六角及び樹枝状パターン -」
21. 覚井真吾（東工大・理） 「表面張力と過飽和度が氷晶の成長形に及ぼす効果」
22. 田中敦（東北大・通研） 「結晶成長における超音波の影響」
23. 斉藤幸夫（慶応大・理工） 「格子気体模型による結晶形のシミュレーション」
24. 上羽牧夫（東北大・金研） 「フラクタル凝集と樹枝状結晶成長」

5月10日（水）

9:00~

25. ○田口善弘（東工大・理） 「乱流のマルチフラクタル」
26. 長谷隆（静岡大・工短大） 「DLA フラクタルと相転移」
27. 本田勝也（名大・工） 「マルチフランタルパターンにおける相転移と保存則」
28. 山田英明（中大・理工） 「異方性により樹枝状成長する  
ヴィスカス・フィンガー」
29. 松下貢（中大・理工） 「粒子の蒸発と凝集を介したクラスター成長」
30. 大月俊也（福井大・工） 「クラスター・クラスター凝集体のフラクタル次元」
31. 原啓明（東北大・工） 「活性化されたクラスター群の動的特性」
32. 秦中啓一（茨城大・理） 「格子ボルテラ系におけるパターン形成」
33. 長屋智之、折原宏、石橋善弘（名大・工）  
「高分子液晶／高分子混合系に於ける相分離過程の観察」

---

註) ○印の講演は40~60分位のレビューとします。その他の講演は20分見当でお願いします。